

危険！脱法ドラッグ

近年、脱法ドラッグを使用して、追突事故を起こしたり、意識がもうろうとし救急搬送されるなどのニュースを耳にすることがあります。

脱法、合法などと言われ、安心であるかのような誤解がありますが、決してそうではありません。犯罪に悪用されたり、乱用による死亡事故を招くこともある危険なものです。

また、「気持ちよくなる」「かっこいい」「痩せられる」などというファッション感覚で、ほとんど抵抗なく手にする若者もいますが、良いイメージはすべてデタラメです。薬物でダイエットしたり、集中力をアップさせようとしても、依存症などによって必ず健康を害します。

○脱法ドラッグとは？

麻薬や覚せい剤と同じような多幸感や快感などを高める目的で使用される化学物質や植物などです。麻薬や覚せい剤と異なり、法律で所持や使用、譲渡などが禁止されていないため、「合法ドラッグ」とも呼ばれています。芳香剤やクリーナー、海外ではダイエットなどに使用されるハーブ系の薬品の健康被害や事故例が増えています。

○脱法ドラッグはなぜ危険か？

脱法ドラッグは、麻薬や覚せい剤などにいたる“ゲートウエイドラッグ（入門薬）”と言われています。脱法ドラッグは麻薬や覚せい剤に類似した化学構造を持っており、麻薬や覚せい剤のような依存性や精神荒廃など、脳に強いダメージを与える可能性があります。また、覚せい剤によって生じる精神錯乱、妄想や強迫観念から家族、友人や関わりのない人にまで危害を及ぼす可能性が高まります。

法律などで規制されなくとも、生命を守るために脱法ドラッグに関わることはやめましょう。一度だけならと、軽い気持ちで手を出すことが多いですが、結局一度だけで止められなくなります。ドラッグについて、正しい知識を持ち、誘われても、断る勇氣を持ってください。

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください。

http://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/yakubuturanyou/other/seifu_kouhou.html

刃物のまちの
“刃物検定”

はもけん

答え合わせ

2号連続企画で実施した刃物検定（通称：はもけん）に多くのご応募をいただきありがとうございました。

問題は簡単でしたか？難しかったですか？今回は「答えと解説」を掲載しますので、答え合わせをしてみてください。解説を読むと「なるほど」と思うこともあるのでは。はもけんを通して、楽しみながら皆さんの刃物の知識が増えてくれたら嬉しいです。

刃物まつりで
「はもけん」開催！
お楽しみ抽選会も
あります♪
ぜひお越しください！

④11月8日 第1問

11月8日は、日常生活に欠かせない便利な道具である刃物に感謝をする「刃物の日」です。市では、毎年この日に、刃物供養祭が行われます。また、他の選択肢にあった7月12日はナイフの日、10月14日は砥石の日、1月2日は関鍛冶伝承館にて古式日本刀鍛錬打ち初め式が行われます。

第2問 ③ハガネ製よりステンレス製の方がさびにくい。

ステンレス製の包丁はさびにくいのが特長ですが、決してさびないわけではありませんので、洗えばなしでの放置は禁物です。水気はしっかり拭き取り、長期間使用しない場合は、油を塗り新聞紙に包むなど、保管方法には気をつけましょう。

第3問 ①兼元

“関の孫六”と呼ばれ、皆に親しまれた二代目兼元は、室町時代に活躍した関鍛冶を代表する刀匠です。兼元が作った刀は三本杉の刃紋が特徴で、大業物（大変切れ味のよい刀）と武将たちに高い評価を受けました。

第4問 ②



シースナイフとは、折りたたみ機構を持たず、保管時に刃を鞘（シース）に収めて保護する構造のナイフです。頑丈で刃渡りの長いタイプが多く、また、鞘をベルトなどに取り付けることで持ち運びやすくなり、アウトドアや災害現場などさまざまな場面で活躍します。

※当選者の発表は、景品の発送をもってかえさせていただきます。

◆照会先 刃物検定プロジェクト（商工課内）☎23-6752

協力：岐阜県関刃物産業連合会